



第44回茨城県消防救助技術大会で 優秀な成績を収めました！



7月5日に日立市消防本部で行われた、第44回茨城県消防救助技術大会の第1ブロック個人種目選考会（ロープブリッジ渡過）に、坏俊行消防士長、後藤洋介消防副士長が参加し、坏消防士長が第1位、後藤消防副士長が第3位を獲得しました。第1位で通過した坏消防士長が、宮城県仙台市で開催される第46回全国消防救助技術大会に出場を予定しています。全国大会出場は当本部では初めてのことです。



全国大会に出場する坏消防士長



後藤消防副士長（右）とお互いの健闘を称えあいました

ロープブリッジ渡過とは？

ロープブリッジ渡過とは、水平展張したロープのスタート地点から折り返し地点までの間（往復40メートル）を渡る競技です。往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過で渡ります。（坏消防士長：18.6秒、後藤消防副士長：20.5秒 [基準所要時間：28秒]）



セーラー渡過

別名：水平わたりと呼ばれるように、セーラー（水兵）が用いていた渡り方で、細いロープに体を支えるバランス力と腕力が大切です。



モンキー渡過

モンキー（猿）のようにロープにぶら下がって手足を伸ばして進む渡り方で、手足を伸ばすタイミングと体を支えるための筋力が大切です。

パラオ研修生に救命講習を行いました

パラオ共和国との東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン交流計画に基づき、本市で受け入れた3人の研修生に対して救命講習を実施しました。

研修生は、分からないことがあると積極的に質問をしながら一生懸命取り組んでいました。彼らが生まれ育ったペリリュー島では、通報すると小さな島のため島内どこでも3～4分程度で消防機関が到着すること、本市から贈呈した消防車や救急車が島で活躍していることを聞き、お互いに交流を深めることが出来ました。



まずは、応急手当の基礎知識と救命処置の流れのレクチャーを受けました



人形を使って実際に救命処置を行いました



その他にも止血の仕方や異物除去などの応急手当も学びました



救命講習を修了した証として、救命講習修了証が配られました



記念にパチリ！お疲れさまでした

■問い合わせ■

常陸大宮市消防本部 西消防署 ☎ 56-2119